

I 学校の教育目標

共に生きる子どもの育成 WITH YOU

II 育成を目指す資質・能力

より良い人間関係を構築する力

III 児童・生徒の課題

学力状況について	学習状況について
県市学力調査「活用する力」の標準スコアは、6学年中4学年が50の童を超え、平均は50.9であった。これは、「書く」分野で成果が表れたからである。しかし、「読む」「聞く」分野に課題が見られた。今課題後、それらを支える「言葉の使い方」の定着のさせ方も改善の必要がある。	2月に実施した独自アンケートによると、「国語の授業において、自分の考えを書くことができた」の問いに肯定的に回答する児童は91%であった。しかし、実態としては、情報と情報をつなげて書いたり内容を要約したりすることが苦手な児童が多い。

IV 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

○ 単元末テスト「思・判・表」(国語)の平均点85点以下の児童の割合を、1学期=33.2%2学期=31.3%以下にする。(昨年=35.1%)
 ○ 市学力調査の「活用する力」(国語)の標準スコア(偏差値)を、50以上にする(3学期)。

V 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	確かな読みと、与えられた条件にそった文章を書く力の育成
②授業改善の重点	重要な語句や文、文章の構成に着目して文章を読み取るとともに、与えられた条件にそった文章を書かせる授業の推進

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	与えられた条件にそった文章を書く活動を行う。	担任は、国語の授業で、重要な語句や文、文章の構成に着目して文章を読み取る活動を行う。また、担任は、週に1回、チャレンジタイムに「言葉の使い方」を高めるための書く活動を行う。	単元末テスト「思・判・表」(国語)の平均点85点以下の児童の割合を、1学期=33.2%以下にする。(昨年=35.1%)	単元末テスト「思・判・表」(国語)の平均点85点以下御割合は、35.6%であった。学年・学級差が大きいという結果だったので、取組内容の情報交換を行い、今後の書く活動につなげていく必要がある。

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期	与えられた条件にそった文章を書く活動を行う。	担任は、国語の授業で、重要な語句や文、文章の構成に着目して文章を読み取る活動を行う。また、担任は、週に1回、チャレンジタイムに「言葉の使い方」を高めるための書く活動を行う。	単元末テスト「思・判・表」(国語)の平均点85点以下の児童の割合を、2学期=33.2%以下にする。(1学期=35.6%)	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

VI 学習定着状況の把握とフォローの取組 および

個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	○朝活動の時間を活用した、補充学習の実施。	○未定着内容に対し、朝活動の時間を活用した補充学習を、週1回以上実施する。3年生以上は、月曜日または木曜日の朝活動でAドリルを活用する。	○
2学期	○朝活動の時間を活用した、補充学習の実施。 ○Aドリルを活用した、家計学習の実施(3年生以上)。	○未定着内容に対し、朝活動の時間を活用した補充学習を、週1回以上実施する。 ○3年生以上は、家庭学習でキューピナを活用する。	
3学期			

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VII 学校・家庭・地域の協働の取組

※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	1学期	2学期	3学期	評価
家庭	親ガメ子ガメ(学力づくり)の取組の推進	保護者は、家庭での取組を決め学期に1回、意欲的に取り組む。				◎
地域	授業への参画	地域の方は、学期に1回以上、ゲストティーチャーや学習サポーターとして、授業に参画する。				

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VIII 令和4年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和4年度学校評価の4点セット達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期	※学期末の評価を1~4で入力(達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値)
	3			

※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

① 「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数 15人	授業を公開した教員の割合	
		7月末時点	11月末時点
		13%	%

※割合(%)は四捨五入して整数表示

② 管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	2学期	3学期
		○	

※プルダウンで○、×を選択

③ 計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	2学期	3学期
		×	

※プルダウンで○、×を選択